令和５年度　京町小学校だより　No.3

令和５年５月１２日（金）

京　町

地域を愛し、豊かな人生を歩む
ために学ぶ子どもの育成

《文責》　校長　小西　郁美

■遊具（ゆうぐ）を使用（しよう）できるようになりました。

芝生の養生のために、長い間使用することができなかった遊具（すべり台・ジャングルジム・うんてい）を使うことができるようになりました。

休み時間にお子さま方が元気に遊ぶ姿が見られます。８年近くに及ぶ校舎改築工事も、漸く完了することができました。

■火災避難訓練（かさいひなんくんれん）を実施（じっし）しました。

火災を想定した避難訓練を実施しました。校舎からの避難も、その後の点呼もとてもスムーズにできました。校長講話として、『「備えあれば、憂いなし」というように、いざというときに備えて、あらかじめ準備をしておくことが大切です。火事も地震も忘れたころにあると言われています。避難訓練は、この「あらかじめ準備をしておく」ために行っています。』という主旨のお話をしました。大切なお子さまの安心・安全を確保するため、学校として、できることをていねいに実践していきたいと思います。

■ご質問（しつもん）にお答（こたえ）えします。

○放課後に、学校に遊びに行くときの道具は、野球道具は持って行っても良いのか

昨年度から３件ほど、放課後にお子さま方が地域の公園でボールを使って遊んでおられたことで、学校へご相談の電話をいただいています。放課後のことは、各ご家庭にて決めていただくことですが、ご相談の内容から、地域の公園では、お子さま方がボールで遊ぶことは難しいように受けとめています。そのため、野球やサッカーなどのボールを使用する時は、学校の運動場で遊ばれてはいかがでしょうかという提案として、先日、メールを配信させていただきました。

「外で体を動かして遊ぶ」ことはお子様の心身の成長のためにはとても大切なことです。しっかり遊んでほしいと思っています。その一方で、学校の運動場以外では、ボールを使って遊ぶことは難しい時代になってきているようにも感じています。

できれば、学校の運動場は、お子さまの安全確保を最優先とした上で、放課後にお子さま方がボールで楽しく遊ぶことができる場所でありたいと思います。学校に持ち込む道具については、ご不安の時は、「これは良いですか」と学校に見せていただけましたら、その都度、判断させていただきます。

授業（じゅぎょう）＆お仕事拝見（おしごとはいけん）

１年2組　寺崎（てらざき）先生

寺崎先生は、本年度から教職に就かれました。毎週金曜日の２時間目が授業研究の時間として、初任者指導を担当していただいている前川先生のご指導の下、授業を行い、その後の３時間目と４時間目は野嶋先生に１年２組の授業をしていただきます。この間、寺崎先生は２時間目の授業について、どのように工夫したらもっと子ども達が主体的に参加できる授業を行うことができるかを前川先生や主幹教諭の弥永先生と協議をしながら研修をさせていただきます。

「初任者研修」はなかなか負担があるものですが、寺崎先生は元気に研鑽を積んでくれるものと期待しています。京町小の教職員もみんなで寺崎先生を支えます。

【寺崎先生が、先生になろうと思った動機を伺いました・・・】

私が小学校の先生になろうと決めた理由は、中学校の時に職場体験として母校の小学校で先生を経験したことが大きなきっかけでした。当時から英語が得意だったので、「英語を活かせる仕事がしたい」と希望を書いたところ、小学校で職場体験をさせていただくことになりました。私はまだ中学生でしたが、それでも子ども達が私を「先生」「先生」と呼んでくれて、慕ってくれること、また、子ども達が自分の一挙手一投足をしっかりと見て、学ぼうとしてくれている姿にとても感動をしました。それから、将来は小学校の先生になるという夢を持っていました。

この春から実際に先生になり、夢が実現しました。毎日がとても充実しています。また、教師として自分が子ども達に直接影響を与えることに責任の重さを感じています。責任は重いですが、教師はやり甲斐がある仕事です。子ども達もとてもかわいいです。私も教師として、子ども達と一緒に成長していきたいと思います。

江口さん

調理実習生として、本校の給食室にて実習をされました。

津川さん

インターンシップとして、2 年生を中心に実習をされました。